

予 算 要 求 資 料

令和年 6 度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策第二係 電話番号：058-272-1111(内3355)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,902 千円 (前年度予算額： 5,005 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,005	2,996	0	0	0	0	0	0	2,009
要求額	6,902	3,944	0	0	0	0	0	0	2,958
決定額	6,902	3,944	0	0	0	0	0	0	2,958

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

我が国の肝炎(ウイルス性肝炎)の持続感染者は、B型が110万人~140万人、C型が190万人~230万人存在すると推定されているが、感染時期が明確でなく自覚症状がないことが多いため、気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多く存在することが問題となっている。このため、早期発見、早期治療により、肝炎、肝硬変、肝がんへの移行を防ぐためにも、委託医療機関に直接受診して肝炎ウイルス検査、定期検査が受けられる体制を整備する。

(2) 事業内容

①肝炎ウイルス検査費用の助成

県内協力医療機関で肝炎ウイルス検査を受けた際に発生する自己負担額を助成する。

②肝炎ウイルス陽性者フォローアップ、定期及び初回精密検査費用の助成

県及び市町村等が実施した肝炎ウイルス検査で陽性となった者に対し、医療機関への受診勧奨、セミナーの案内送付等を行うとともに、初回精密検査費用や慢性肝炎・肝硬変・肝がん患者に対する定期検査費を助成し、肝炎等の重症化予防を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

① 肝炎ウイルス検査に係る費用

国(検査に係る費用-自己負担分) / 2 + 自己負担分 (切り捨て)

県(検査に係る費用-自己負担分) / 2 (切り上げ)

自己負担分：検査に係る費用の 3 / 10 (切り捨て)

② 初回精密検査や定期検査等に係る費用

国 1 / 2 県 1 / 2

(4) 類似事業の有無
無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	580	案内チラシ、申込・診断書印刷製本費
役務費	27	医療機関、フォローアップ対象者への通知郵送代
委託料	3,355	委託医療機関における検査費用
扶助費	2,940	初回精密検査、定期検査費用
合計	6,902	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

(2) 国・他県の状況

厚生労働省が定める「ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業実施要領」に基づき、全国の都道府県において同様事業が実施されている。

(3) 後年度の財政負担

国の動向等を注視し、事業の継続、見直し等を検討

(4) 事業主体及びその妥当性

肝炎ウイルス検査については、県民の利便性を考慮し、多くの医療機関で、検査が可能な体制を整える必要があり、広く県内の医療機関・医師に対する、周知、受託勧奨及び取りまとめが可能な、(一社)岐阜県医師会に委託する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

肝炎ウイルス持続感染者等を適切な医療に導き、肝炎ウイルスによる重症化予防の推進を図る。また、県内には、肝炎ウイルス検査を一度も受検したことのない方が多数いると思われ、早期発見、早期治療により、重症化を防ぐためにも、肝炎ウイルス検査の必要性を広く周知するとともに、受検者の利便性に配慮した肝炎ウイルス検査受検体制の整備を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
① 初回精密検査の助成申請件数		12	30	30	30	40.0%
② 肝炎ウイルス検査受検者数		164	400	400	400	41.0%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	肝炎ウイルス検査について、308件助成。啓発チラシを作成、配布した。初回精密検査は16件、定期検査費用については150件助成。陽性者に対しては、医療機関への受診状況を実施した。
	指標① 目標：30人 実績：16人 達成率：53.3%
	指標② 目標：400人 実績：308人 達成率：73.3%
令和3年度	肝炎ウイルス検査について、336件助成。啓発チラシを作成、配布した。初回精密検査は17件、定期検査費用については156件助成。陽性者に対しては、医療機関への受診状況を実施した。
	指標① 目標：30人 実績：17人 達成率：56.7%
	指標② 目標：400人 実績：336人 達成率：84.0%
令和4年度	肝炎ウイルス検査について、164件助成。啓発チラシを作成、配布した。初回精密検査は12件、定期検査費用については153件助成。陽性者に対しては、医療機関への受診状況を実施した。
	指標① 目標：30人 実績：12人 達成率：40.0%
	指標② 目標：400人 実績：164人 達成率：41.0%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>肝炎ウイルス陽性者・キャリアの多くは、肝炎、肝硬変、肝がんへと移行するため、無症候性キャリアの早期発見、早期治療への結びつけが重要であり、事業の必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>ウイルス検査について平成24年度には36人だった受検者が、現在164人まで増加しており、普及啓発ができています。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県と市町村の各々の肝炎ウイルス対策に役割を定め実施しており、効率化は図られている。 事前に保健所で検査申込の必要がなく、委託医療機関を直接受診する方法であり、実施方法の効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 市町村や医療機関等の密接な連携と医療機関に受診する機会のない方への周知が課題。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 毎年のがん予防協議会等において、当該事業の実績を報告し、具体的な取り組みについて協議の上、必要に応じ見直しする。 肝炎ウイルス検査の未受検者はもとより、過去に受検し結果を正確に認識していない方を含め、肝炎に対する正しい知識の普及に引き続き努める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	